

令和2年度 シラバス

教科名		理科	科目名	科学と人間生活	履修学年	第3学年
単位数		2単位	使用教材	啓林館「科学と人間生活」 啓林館「サンダイヤル 科学と人間生活の学習ノート」		
科目目標		・自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通じて理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。				
履修上の注意		・持参物：教科書、サンダイヤル 科学と人間生活の学習ノート、授業ノート ・配布プリントは整理し管理すること。				
学期	時期	単元名			学習内容	
1	中間 考查 まで	第1部 生命の科学 第1章 生物と光 A 植物の生育と光（光合成の部分のみ） B ヒトの視覚と光 C 動物の行動と光			ヒトの視覚と光のかかわりや光合成について理解する。 様々な微生物の存在と生態系での働き、微生物と人間生活とのかかわりについて理解する。 身近な食品の主な成分の性質について理解する。	
	期末 考查 まで	第2章 微生物とその利用 A 微生物の存在 B 生態系における微生物 C 微生物と人間生活 第2部 物質の科学 第1章 食品と衣料 A 食品の科学				
2	中間 考查 まで	B 衣料の科学 第3部 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 A 光とは何か B 光の性質			身近な衣料材料の性質や用途について理解する。 光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解する。 太陽や月などの身近に見られる天体と人間生活とのかかわり、太陽系における地球について理解する。	
	期末 考查 まで	C 電磁波とその利用 第4部 宇宙や地球の科学 第2章 自然景観と自然災害 A 地震による景観と災害 B 火山の景観と災害				
3	学年 末考 査ま で	C 流水の作用による景観と災害 （学年末考查は実施しない）			身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、太陽の放射エネルギーによる作用や地球内部のエネルギーによる変動と関連付けて理解する。	
評価 方法	① 関心・意欲・態度 （20）点		② 思考・判断・表現 （10）点		③ 観察・実験の技能 （10）点	
	・提出物等		・小テスト等		・レポート等	
				④ 知識・理解 （60）点		・考查等